

ねりまユニオン

編集発行：練馬ユニオン編集委員会
 連絡先：練馬区 練馬1-16-16-101
 サポートねりま内
 TEL 03-3994-2088
 E-mail：support@nerimaunion.org
 HP：www.nerimaunion.or/

ごまかしの「働き方改革推進法案」に反対し 「8時間働けば生活ができる賃金をよこせ」の声を！

練馬地域ユニオン 委員長
 奥山信義

年頭のご挨拶を申し上げます。

「労働条件は、労働者が人たるに値する生活を営むための必要を充たすべきものでなければならない。」と、労働基準法第1条で労働条件の原則として定めています。

労働者が人間らしい生活をしていくための最低の働く基準を定めて、労働者に保障しようというのが労働基準法です。

日本国憲法は、第25条で「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」と生存権を保障しています。

平和について「日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであって、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われわれの安全と生存を保持しようと決意した。」と憲法前文で誓い、第9条で戦争を永久に放棄することを宣言しています。

戦後70年、曲がりなりにも平和主義、国民主権、基本的人権が尊重される社会であったといえます。しかしながら、第二次安倍政権の5年間は、「平和で豊かな安心して暮らせる国づくり」ではなく、真っ向からこれを否定し、戦前回帰の「戦争のできる国づくり」へと邁進しています。歴史修正主義といわれる最も危険な政権です。

今年の労働運動の課題は、いかに安倍政権が進める「働き方改革」と対決し憲法改正発議を阻止するかにあります。

新自由主義政策がもたらした社会矛盾は「格差と貧困」です。世界8人の富豪の資産が、全世界50%の人口の資産と匹敵する

といわれるように、富める者はますます金持ちに、貧しき者はますます貧乏になる社会が生まれています。

ユニオンへの労働相談でも、そのことが充分伺えます。「シフト勤務を削られた、明日からの生活に響く何とかならないか。」「有給があることも知らなかった、社会保険、雇用保険の適用もない」等、低賃金で無権利、不安定雇用の状態が助長されています。ユニオンは、昨年10月28日、第22回定期大会を開催し「**非正規」「反貧困」「反失業**」を軸にしたユニオン運動！の基調をもとにたたかう方針を決定しました。当面する労働相談から、「シルバーハート闘争」を主にいくつかの労働争議を闘っていきます。

私たちは、「働き方改革」一括法案（労働基準法、じん肺法、雇用対策法、労働者派遣法、労働時間等特別措置法、パート労働法、労働契約法）成立を阻止し、非正規労働者の処遇改善を柱に、どこでも誰でも「8時間働けば生活ができる賃金をよこせ」と声をあげましょう！

「戦争をしない、させない社会」に向けて安倍政権と対抗し、安倍自公政権の打倒によって平和で人間らしい生活を取りもどすたたかいに集中しましょう！



2017.10.28 練馬地域ユニオン大会

東京清掃2017賃金確定闘争

10月11日（水）、特別区人事委員会は、「職員の給与等に関する報告及び勧告」を実施しました。4年連続の月例給・特別給ともに引上げ改定としたことは歓迎すべきことですが、その水準は、特別区職員の生活改善には直結しない低い水準にとどまっています。また、特別給の引上げ分は勤勉手当に割り振るとしたことや、配偶者に係る扶養手当の減額を勧告したことなど問題の多い勧告内容であると言わざるを得ませんでした。

1 月例給の引上げについて

職員と民間従業員との給与の比較について、民間従業員：394,038円、職員：393,512円、較差526円（0.13%）としています。しかし、自宅に係る住居手当の経過措置が終了し本則（廃止）に入っていることや、比較対象職員の平均年齢が昨年（41.7歳）よりも0.5歳低くなっていることを考慮すると、引き上げ勧告とは言っても、住居手当の減額分（610円）にも満たない低い水準にとどまっています。（平成28年度の住居手当の平均額：4,474円。平成29年度の住居手当平均額：3,864円）

2 特別給（期末・勤勉手当）の引上げについて

民間における特別給の支給割合の調査結果を4.52月としたことは、民間の春闘状況を一定程度反映したものと言えますが、引き上げ分を勤勉手当に割り振りとしたことは、労使協議事項に踏み込むものです。本来、引上げ分を期末手当に割り振るか、勤勉手当に割り振るかは労使協議で決定されるべきものです。こうした人事委員会の姿勢は、労使自治の原則を脅かすばかりか、労働基本権制約による第三者機関としての役割を逸脱するものです。

3 扶養手当の見直しについて

配偶者に係る手当額を他の扶養親族に係る手当額と同額まで減額し、それによる原資を用いて、子に係る手当額を引上げ（配偶者：13,700円→6,000円、子：6,000円→9,000円）としています。

扶養手当は、職員が扶養親族を有することによる生ずる生計費を補助する生活給的な性格を有するものです。人事委員会は、「国における扶養手当の見直しを踏まえ、（後略）」としています。国に追随するこうした人事委員会の姿勢は、特別区の自主性・自立性を放棄したものです。特別区職員の支給状況を明らかにさせて、慎重な検討と十分な労使協議を求めます。

4 再任用制度について

わが組合は再任用制度について、無年金期間を雇用で確実に接続する賃金水準の見直しを求めてきましたが、人事委員会は、「定年の引上げ等に係る国の動向を注視」として、本年も具体的な言及を避けました。11月22日労使トップ会談の末、ほぼ勧告内容に沿った妥結となりましたが、まだまだ課題も多く、今後も引き続き協議してまいります。



2017. 11. 23 石神井公園

練馬地域ユニオン労働相談からまなぶ7

☆労働相談：労働災害保険の申請について

施設利用者の送迎で車から降りるときに転んで腕を骨折してしまった。

☆回答：労働者が業務上負傷した場合は、使用者の過失の有無にかかわらず、使用者が定率の補償を行わなければなりません。（労災補償制度・労基法75条～88条）

1. 労働者災害補償保険（労災保険）の適用

労災保険は、労働者が仕事上や通勤の途中で怪我をしたり、病気にかかったり、死亡したときなどに、国が事業主に代わって必要な補償を行う保険です。

労災保険は原則として労働者を一人でも雇用する場合は適用事業となり、適用事業で働く正社員だけでなく、パートタイマー、アルバイト等を含めすべての労働者に適用されます。

2. 事業主が保険関係成立の届出や保険料納付を怠っていた場合

たとえ事業主が届出や保険料納付を怠っていた場合でも、被災労働者に対し労災保険に基づく給付は行われます。その場合、政府が事業主から保険料を遡及的に徴収する。（労働保険徴収法19条3項ないし5項）

3. 労災保険からのおもな給付

①業務災害に関する保険給付

療養補償給付、休業補償給付、傷病補償年金、遺族補償給付、障害補償給付

4. 請求について

労災保険の請求手続きは、労働者本人又は遺族が請求することになっています。

（労災保険法12条の8第2項）

事業主は被災労働者またはその遺族が保険給付請求のために必要な証明を求めた時には速やかに証明しなければならない。（労災保険則23条2項）

なお、事業主証明（被災事実、賃金額等）が得られない場合、事業主証明欄が空欄のままでも請求は可能です。

5. 消滅時効

給付を受ける権利は給付の内容で2年と5年の時効消滅があります。

労働災害保険申請に当たっては非協力的な事業主の姿勢も見うけられますのでその時は労働組合、労働基準監督署等に速やかに相談してください。

（参考資料：労働事件ハンドブック 2015年第二東京弁護士会労働問題検討委員会）

（参考資料：ポケット労働法 2016年東京都産業労働局）



腸内環境と健康について

腸内環境と健康について

私達の健康は、腸内細菌によって大きく左右されているのをご存知でしょうか。人の腸内には数百種類、数百兆個、総重量約1kgもの腸内細菌が生息していると言われていています。今回は腸内環境が人体に及ぼす影響について取り上げていきます。

人間の腸の内面は、広がるとテニスコート1面分に相当し、花畑「マローラ」のように腸内細菌が生息しているため腸内フローラと呼ばれるています。また、腸内細菌は大きく分けて善玉菌、悪玉菌、日和見菌の3つに分類されます。善玉菌は代表的な物として乳酸菌が挙げられます。乳酸菌は、腸内で乳酸や酢酸を作る事で悪玉菌の増殖を防いだり腸の運動を促したりと、その名の通り体に良い働きをします。その一方で悪玉菌は腸内で有害物質を作り出すため、増殖すると下痢や便秘などを引き起こす原因となります。そして、日和見菌は腸内で善玉菌と悪玉菌の優勢な方に味方をするように作用します。

そのため、良好な腸内フローラを維持するには善玉菌が優勢な状態である事が重要となります。ヨーグルトや漬物など発酵食品をはじめとした、善玉菌が含まれる食品を「プロバイオティクス」、善玉菌のエサとなりその増殖を助ける食物繊維やオリゴ糖などの事を「プレバイオティクス」と呼び、近年では相乗効果を狙ってその両方を摂取する「シンバイオティクス」という考え方も注目されてきています。

腸内環境が良好だと、お腹の具合だけにとどまらず免疫力にも好影響があります。人間の体には様々な免疫細胞があり、外敵と戦うことで感染症等を防いでいますが、腸内にはその60〜70%が集中していると言われていて、免疫力向上の鍵を握っていると考えられています。健康の維持には適度な運動や十分な休養は欠かせませんが、さらに腸内環境を意識したバランスの良い食事を摂ることで、より「層効果」を高めていきましょう。